



フォト ダイアリー

Photo Diary

3/2
土

伝統料理に親しむ

手作り和菓子教室

いこまい館で小学4～6年生を対象にした健康課主催の和菓子作り教室が開催されました。

メニューは2種類のおはぎと関東風いちご入り桜もち。参加者はグループで協力しながら、桜もちの生地を焼いたり、おはぎをきれいに丸めたりしました。会食では「自分で作った和菓子はおいしい」「家でも作りたい」などの声が聞かれ、笑顔で和菓子を味わいました。



2/16
土

山火事を防ぐ

林野火災訓練

富士浅間神社の敷地内の山林で、火災が発生し延焼拡大の恐れがある想定で、訓練が行われました。

尾三消防本部、町消防団、祐福寺区・春木台自治会、神社関係者ら約70人が参加しました。

神社と区・自治会の関係者が初期消火と通報訓練を行い、町消防団は背負子を担いで山を駆け上がり、林野に分け入って放水をしました。





2/27
水

桃の節句をお祝い

音貝保育園おこしものづくり

音貝保育園の園児139人がおこしものを作りました。おこしものは、県の行事食で、桃の節句におひなさまにお供えする、米粉の生地で作る食べ物です。

園児らは、生地を鯛や扇、鶴などの形をした木型に押し込み、おこしものを作りました。

すみれ組の山田柚空ちゃんは「上手に作れて楽しかった。また作りたい」と嬉しそうでした。



2/26
火

交通ルールを学ぶ

たかね保育園幼児交通安全教室

たかね保育園で幼児交通安全教室があり、100人の園児が参加しました。

園児はアニメDVDで交通ルールを学んだり、歩行環境シミュレータを使い、横断歩道を渡る模擬体験をしたりしました。

その他、パトカーの見学・写真撮影なども行われ、交通安全への意識を高めました。



2/17
日

レク楽・インディアカで交流

第27回レクスポ大会

町総合体育館アリーナで行われたスポーツ大会に、16チーム78人が参加しました。

レク楽・インディアカは、羽根つきのボールを手で打ち、落とさないように味方に繋げ、3回または4回で相手のコートに返す競技です。

参加者は声を掛け合ってパスを繋ぎ、得点が入るとチームで喜びを分かち合っていました。

2/28
木

「あったらいいな」の実現へ

福祉計画ワークショップ

町民会館で地域福祉計画・地域福祉活動計画のワークショップが行われ、3日間で延べ127人が参加しました。この計画は、地域の支え合いの仕組みや基盤づくりを示すもので、町と社会福祉協議会が策定します。

参加者は身近な福祉の「あったらいいな」と思うことについて、実現する方法を考えました。



2/7
木

もしもの時に備えて

避難所運営ゲーム

避難所での生活や出来事を疑似体験し、避難所の運営や役割に対する理解を深めるため、これまで職員のみで行っていた避難所運営ゲームを地区の関係者と一緒に行い、49人が参加しました。

町職員と地区役員が一緒に行う訓練としては初めてでしたが、和やかな中にも真剣かつ熱心な姿がありました。

2/17
日

地域に根差した福祉活動を

東郷ひなた設立記念講演会

障がい者福祉の分野で活動するNPO法人東郷ひなたが社会福祉法人の法人格を取得しました。

これを記念して、いこまい館で「地域における障害福祉の現状と課題」をテーマに、自身も障がいのあるお子さんを持つ毎日新聞論説委員の野沢和弘氏が、お子さんや家族との体験などにユーモアを交えながら講演し、来場者は熱心に耳を傾けました。



2/17
日

新しい交流の場

清水コミュニティセンターフリーマーケット

清水コミュニティセンターで今年度2回目となる自治会主催のフリーマーケットが開催され、約400人の参加者でにぎわいました。

イベントでは軽トラ市も同時開催され、ポップコーンなどの振る舞いも行われました。

自治会長の佐藤さんは「地域の中で多くの人が交流できるコミュニティを作りたい」と話していました。